

# 総務文教委員会

令和6年8月30日（金）

時分～時分

第1委員会室

【委員】 芦谷委員長、沖田副委員長、村武委員、岡本委員、永見委員、西田委員

【執行部】

（総務部） 山根総務部長、末岡総務課長、森井総務課総務管理係長

（地域政策部） 田中地域政策部長、岸本政策企画課長

（教育委員会） 草刈教育部長、藤井教育総務課長

（消防本部） 赤岸消防長、大橋総務課長

【事務局】 松井書記

【議題】

- 1 所管事務調査事項について
- 2 9月10日（火）の委員会審査日程等について
- 3 その他
- 4 【取組課題】 地域交通について（委員間で協議）

## 令和6年9月10日（火）10時開催の総務文教委員会における予定議題

- 1 請願審査
  - (1) 請願第8号 郷土資料館の建設場所検討に関する請願について（継続審査）
  - (2) 請願第11号 学校給食の自然塩（天然塩）使用の請願について（継続審査）
- 2 議案第50号 財産の無償譲渡について（旧佐野分団2班消防ポンプ車庫）
- 3 同意第5号 浜田市教育委員会委員の任命について
- 4 同意第6号 浜田市公平委員会委員の選任について
- 5 同意第7号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 6 執行部報告事項
- 7 所管事務調査
- 8 その他

令和6年1月26日

浜田市議会議長 笹田 卓 様

住所 浜田市天満町 [REDACTED] 国分 俊幸 [REDACTED]

浜田市天満町 [REDACTED] 三浦 英俊 [REDACTED]

紹介議員 岡本 正友 [REDACTED]

郷土資料館の建設場所検討に関する請願書

【請願の趣旨】

この度、浜田郷土資料館建設計画が再始動する運びとなり、浜田市民として大いに期待をしているところですが、観光や既存施設との関連からも建設は城山周辺での建設を要望するものです。

【理由】

浜田市は島根県西部の、政治、経済、文化、の中心都市として、特に近世以降重要な役割を果たしています。

それは、浜田が浜田藩の城下町であったことに起因します。浜田市におかれましても、浜田城周辺整備において、歴史文化の保存、学習・憩いの場、教育・観光・交流の拠点、として整備をされています。

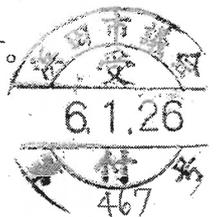
浜田の歴史文化を収蔵展示する郷土資料館はその特性を踏まえた、殿町地区特に城山周辺が適切と思われます。

城郭が残る浜田城址と浜田城資料館を合わせた郷土資料館は有機的に作用し、浜田の歴史文化を直接感じる事が出来る空間となります。

浜田市の町づくりの基本は城下町であるとの認識のもと、歴史を肌で感じる空間は、資料館にとって重要な要素となります。

新しい建設地は以上の状況を考えたとき、城山周辺以外にはないかと思われます。

何卒趣旨をお汲み取り頂、実現いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



令和 6年 5月 30日

浜田市議会議長 様

住 所 浜田市長浜町 [REDACTED]  
コドモミライいわみ浜田  
代表 宮田麗子 [REDACTED]

紹介議員 大谷 学  
布施 賢司  
村武 まゆみ

学校給食の自然塩（天然塩）使用 の請願について

【請願の趣旨】

1 願意

学校給食の調理すべてに精製塩ではなく自然塩（天然塩）を  
使用してほしい

2 理由

生物が生きていく上ではミネラルが重要であり  
特に成長期の子どもたちにとっては大切な栄養素です。  
自然塩（天然塩）にはカリウム、マグネシウム、カルシウムなどの  
ミネラルが多く含まれているのに対して精製塩は99.5%以上が  
塩化ナトリウムでできており、不純物を取除く工程によりミネラルは  
ほとんど失われてしまいます。  
体のしくみにおいて、神経伝達にはミネラルが必須であり、  
ミネラル摂取の効果として、集中力アップや運動パフォーマンスの向上、  
そして体の成長を助ける役割があると言われてしています。  
自然塩（天然塩）を用いた献立で調理して頂きたいからです。

参考文献 「発酵遺産」 三好基晴（医学博士）  
河名秀郎（自然栽培全国普及会会長）  
「自然療法」 東城百合子（自然療法研究家）  
「医者いらずの食」 内海聡（医師）

